

平成24年度

第1回中央区環境行動計画推進委員会

日 時 平成24年8月8日(水) 14:00~16:30

場 所 中央区役所 別館6階A会議室

【議事の概要】

議題(1)中央区環境行動計画事業等の推進状況について

「中央エコアクト」

〈委員からの意見等〉

- 中央区エコアクトで事業所の取り組みの進捗が捗々しくない、事業者にとってのインセンティブが魅力有るものなのか、或いは更に広報活動が必要かといった検証が必要だと思う。
エコアクトの認証を受けるため、3か月取り組んでいく対価と助成の上乗せでメリットが有るか無いかの話になってくると思う。その辺事業者の方々はどう考えているのか。
- 事業者の取り組みで伸びが見られないのは、自宅と事業所が一緒という所が多いのも取り組みが進まない一因ではないか。
- 事業所の取り組みについて、何か強化策・改善策のようなものを検討する時期に差し掛かっているのではないか。ちょうど5年目になるし、何か工夫が必要かと思う。
- 事業者の方々が、どういう取り組みをされているのか、なぜ、事業者がこういう動きなのかという分析が必要だと思う。この制度(中央エコアクト)には参加していなくても、既に取り組まれている事業所が結構あるのかも知れない。
- エコアクトの取り組みで、経費を削減した企業などの実例も積極的に紹介する方が良い。
エコアクトに参加する、しないに関わらず取り組みは進んでいるという気もするので、少し調べて頂いた方が良い。
- 実績が進んでいる事業所を、環境配慮事業所として公表しているが、その流れにも組み込んで行く方が良い。独自で進めている事業所も評価してエコアクトへの参加にとどまらず事業者自らの取り組みも社会的に認知し、皆さんにお知らせすることも考えて良い。
- 潜熱回収型給湯器の申請件数が多く、排熱温度が低くなったメリットも有り設置が進んできたという気がする。そういう意味ではプラスのメリットというのが評価された上で、参加が進んでいる。また事務の人達も選定しているのだと言うところをもう少し見て頂き、提供する側でも考えて行かないといけないという気がする。総体として、見て使う側にとって機能が向上している物は省エネと抱き合わせで紹介していくと取り組みが進むのではないか。

〈区の回答〉

- ・ 中央区エコアクトの認証取得者の特典として、例えば太陽光発電システム導入費助成の場合、1キロワットあたり10万円の助成額が認証取得者は15万円に、省エネ機器は導入の20%が助成単位ですが、こちらは35%まで上がり、助成率のほか上限額も上がります。自然エネルギー省エネルギー機器等助成では、当初事業所の上限が20万円だったものをエコアクト認証を取得した事業所については、現在100万円まで上限額を引き上げてきた。

「中央区の森」

〈委員からの意見等〉

- コミュニティバスの停留所に木製ベンチが置いてあり、たぶん中央区の森の間伐材だろうと思ったのですが、何か表示されていると良いと思った。例えば、焼き板か何かで間伐材を使っていますとか、そのような工夫があればベンチを使う、或いはコミュニティバスを使う際に利用者の方に「中央区の森」のことを思い出して貰える、また、全然知らなかった人が「中央区の森」に関心を持つ、そんな動きにも繋がって行くのではないか。
- 平成22年度から始まって平成24年度までの実績、これはみんな「中央区の森」に関係した事業になる訳ですが、かなり力を入れて取り組まれていると思う。
- 新宿区で区民の森にメガソーラー（大規模太陽光発電）を設置されるというような取り組みがあるようですが、そのような取り組みはどうか。

〈区の回答〉

- ・ 既に公園のベンチなどでは「中央区の森」檜原村の間伐材を使っているということを焼印のような形で表示しています。バス停のベンチなどの表示にも留意したい。
- ・ 新宿区は長野県伊那市高遠町の森林保全の支援をしている。中央区も森林保全という形で進めて来ているが、幅広に連携を図るため昨年協議会を設けている。観光やエネルギー面では檜原村で間伐材を使ったバイオマス発電などの計画も持っているので、連携できるところは連携し、エネルギーで言えばオフセットに成るようなところもあるので、幅広い視点で進めて行きたい。

「資源回収」

〈委員からの意見等〉

- 新しく都市鉱山リサイクル法案が成立し、来年4月から施行されるという新聞報道があり、自治体が取り組むという趣旨で書いてあるが、中央区として何か予定とか計画があるか。

〈区の回答〉

- ・ 検討はしているが、法案では市町村については努力規定としており、都市鉱山の回収方法など未だに明確にされていないことや、回収に当たっては相当な経費も掛かってきます。また、区にはストックヤードというものが無いので、そういったことも勘案しながら更に検討を進めたい。

「コミュニティバス」

〈委員からの意見等〉

- コミュニティバスの乗車数推計の平成24年度が、平成23年度より少なくなっている。利便性を高めると乗車人数は増える傾向だと考えられるので、推計の計算方法に工夫が必要だと思う。利用者アンケートなども行っているのので、それをベースに推計すれば、去年の実績よりも高い数値で推計値が出てくる可能性が高いのではないかと。

〈区の回答〉

- ・ 資料の乗車数推計は、予算編成時点での推計値で平成23年度実績を反映していません。区としては、利便性の向上を高める意味でのルート変更もしており、24年度も順調に伸びる形を見込んでいます。

資料1「環境行動計画事業等の推進状況」共通事項

〈委員の意見等〉

- 2年に渡って「整備なし」の書き方になっている箇所があり、既にかかなりの進捗状況に達している事業については、こういう状況が生まれてくるのが当然かなと思われる気もしているが、いい方向で評価して貰った方が良いので、少し書き方を工夫する必要がある。
- 「地域の環」の3番と6番にエコポイントとエコアクションポイントがあるが、資料の事業概要の辺りにエコポイントの説明を入れた方が、理解し易く繋がりがはっきりすると思う。

〈区の回答〉

- ・ 資料の記載について、工夫していきます。

「中央区環境区民会議」

〈委員の意見等〉

- 質問ですが、中央区環境区民会議の運営で、参加者から会議のテーマを貰うという話がありましたが、具体的なイメージがありましたら説明願います。

〈区の回答〉

- ・ 開催を重ねて行く中で、区民、団体、事業者と区の距離を縮めたり、共通認識を深め、参加者の方からテーマなどの提案が頂けるよう育てていきたいという意味で説明しました。

「中央区環境情報施設」

〈委員の意見等〉

- 中央区環境情報施設の整備は、環境区民会議において、その運営や展示のあり方などについて検討することが、適当かなという感じを受ける。
- 協働事業で中央区環境保全ネットワークが檜原村への環境ツアーを行っているが、中央区環境情報施設で、ふれあい村構想の一環として、檜原村とのふれあいをアピールする場にさせて頂きたい。民間とコラボして事業を行い、大事なものも沢山得てきたので、お披露目のときに出させて貰い、檜原のベンチなどにも関心を持てる情報発信を進めていけたらと思う。
- 中央区子ども環境サミットも資料だけでなく、中央区環境情報施設に展示されたりするとまた違ってくる。
- 中央区子ども環境サミットのミニ版のようなものを中央区環境情報施設でやっていけたら良い。また、環境区民会議もこういう場所で開催してほしい。

- 中央区環境情報施設は、ある意味一つの核になるような話で、環境区民会議とか、区民の方が関与しながら取り組まれている事業の成果などをこういう場を使って皆さんにお知らせするというのを運営の中で生かして貰いたい。
- 運営を最初から区民のボランティアにお任せしていけるかと言うと無理かとも思いますが、初めは区で考えて頂いて、だんだん変わっていくという対応をして頂ければと思う。姿勢としては、できるだけ区民の方々の意見を吸い上げながら運営し、展示物等も改変して行くということも考え、その姿勢で取り組んで頂ければ良いと思う。

〈区の回答〉

- ・ 中央区環境情報施設は、施設を区民の方々、団体の方々、事業者の方々が有る意味自由に使って頂き、環境区民会議なども自主的に集まって頂き活性化するように、なるべく束縛無く施設の運営をしていきたいと考えています。

「自然エネルギー」

〈委員の意見等〉

- 自然エネルギーの導入で、同じ小学校に風力や太陽光発電装置を導入してきているが、その連携を少し考えて頂きたい。自然エネルギーの連携とか、そういうことも一つの勉強の体制の中に含める、そういう方法論の検討も必要ではないか。
- 環境教育の一環で、模型的なものを見せると言う発想だけなら良いが、逆に誤解を与えてしまうということが無い訳ではない。自然エネルギーの能力とか適地とかを含めて考え、自然エネルギーの位置付けなり、選定の方法とか色んなことを一体として教育の中に入れて頂くことを考えて貰うと良い。

「エコタウン構想の推進」

〈委員の意見等〉

- 晴海のエコタウン構想で、現状がどうなっていて、どこ等へんに課題を感じているのかがよく分からない。例えば清掃工場の余熱発電電力が地域の資産という形で書かれていて、次に何か周辺の地区ができてくるときに、そういったものを積極的に活用していくということは分かるが、現状が分かると大分色んな検討ができると思う。

〈区の回答〉

- ・ 未利用エネルギー調査の中でも、今年度はより具体的に採算性なども含め検討して参りますので、まとまってきましたらこの会議の中でも出させて頂きたいと思います。

議題(2)「東京都・特別区・中央区の二酸化炭素の排出量の現状」

〈委員の意見等〉

- 2009年を見ると、二酸化炭素排出量、エネルギー消費量とも23区の業務も中央区も減っている。何か考えられる要因があるか。省エネ法の報告が始まったのがこの年で、あと東京都の条例の影響なども考えられるが。
- 原単位の値を見ても、東京都全域で比べたのと家庭、事業者とも違いが出ているし、日本

全国と比べても全体的には小さい値になっているという印象は受ける。説明のように世帯数の伸び、或いは1世帯当たりの人数の減少、また、高層化されたマンションとか色んな形で中央区としてのメリットがあるのかと。少しそういうのも位置付けして見ると面白いのではないか。

〈区の回答〉

- ・ 2009年に二酸化炭素排出量、エネルギー消費量が減っている要因の一つとして、リーマンショックなどによる経済活動の変動によるものも影響したのではないかと推測しています。

議題(3)「環境マネジメントシステム取組結果」

〈委員の意見等〉

- 資料を見ると、燃料を一緒にしてしまっているのが、ちょっと分かりにくい印象がある。例えば、別表に記載の「A重油」など、本庁舎や大規模施設とかによって、どこで沢山使われているのかが分からない。熱需要で使っている所と輸送用で使っている所というのは、施設ごとに見ていかないと中々具体的な対策の検討とか、考えというのが整理しづらいのではないか。
- 少し強弱付けて、ここはがっちりやってくださいという、何か重点項目を決めて取り組んで頂くということがあっていいと思う。
例えば用紙類等、それほど排出量、使用量が多くない施設では、3%削減の達成がされていなくとも、まあ、重点項目では無さそうな気がする。逆に本庁舎なんかは使用量が多いので、そういうところは頑張ってもらってはいけない。それから、区立の学校などはそれぞれの学校単位に値は出てきている訳です。自分達がどういう位置に置かれているのかということを知って貰った方が良く、そういう中で、また、重点的なところも決まってくると思う。
- 削減への対応が難しいという所があっても構わないと思うし、一方でどこでもできそうなものが遅れている所もある訳です。どういうレベルで公表するかというのはまた、考えて頂くとして、大ぐくりにして削減目標を掲げて取り組んで行くということだけで無く、データがちゃんと集まってきたら、それを活用しながら削減を推進していく方向で考えて頂きたい。
- 動的な仕組みづくりというのは目標を決めて、静かにする、我慢して達成するという事で動的な効果があると思う。内部環境監査の環境管理責任者を動的な仕組みにすれば、成績のいい人の工夫や秘密、ノウハウというのを他の部署に教えとか、相互の監視体制、監査、アドバイスとか、逆に訪問した職員の方も先方から学ぶとか言うようなことも動的な仕組みの一つだと思う。効果的かなと思うし、皆さんにもやって貰いたい。
- 年数が経って自然に良くなる部分もある。職員の異動により、環境政策課で環境配慮プログラムに関わっていた職員が異動して、そこでまた、指導するような役割を担うといった事がどんどん積み重なってくれば、仲間が増えてくるのではないか。
- 指標を工夫しないと取り組みに張り合いが出ません。こういう指標は科学的に厳密な算定方法は無いので、かなり大胆に職員の頭割りであったりとかの方法で、それに合意してしま

うという事の方が大事です。

- 廃棄物排出量の削減が、きつそうな感じで映りますが、環境監査の一回目で色んな情報が得られたということなので、今後、データをうまく活用しながら目標に向けての努力とか、それをまた区民の人に示すという事をしていって貰いたい。
- 環境配慮プログラムでは、どういう対応策取っているとか、データとして出てきているのであれば、それを整理して皆さんにも知らせる、また、その中で自分の所もできそうだと思うものは、どんどん取り入れて貰えるように情報を提供して貰いたい。
- 面白い取り組みだと思うし、自分達の事だという認識の中でやって頂いて、それをどんどん進める或いはきちんと対応していますという姿勢が、また、波及効果として区民の方たちの取り組みのレベルアップに繋がっていくのではないかと思う。

以上